

理事長ご挨拶

本格的な冬の到来を思わせる寒さですが、皆様はお変わりありませんでしょうか。

今回は「眼内注射」と「メタボリックシンドロームと眼科疾患」についてをお話しさせていただきます。



医療法人恭青会
理事長 生野 恭司

眼内注射について

眼内注射は、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞性、糖尿病黄斑浮腫、脈絡膜新生血管など多くの網膜疾患の治療に用いられ、ここ10年で登場した新しい眼科の治療法です。

眼内の血管に作用し血管新生作用や、血管透過性亢進を是正します。

現時点では抗血管内皮増殖因子薬(抗VEGF薬)、もしくはステロイド懸濁液(トリアムシノロン)が保険適用で使用されています。

手技としては点眼麻酔の上、イソジンなどの消毒を結膜や眼瞼に行い、角膜の外側3.5mmの位置で眼内に注射します。注射針は通常30Gが用いられます。注射時間は数秒ですが多少の痛みを伴うこともあります。眼内注射は点眼とは異なり網脈絡膜に強力な薬剤を直接届けることができるため、大きな期待が寄せられています。

しかし、眼内注射は継続して行う必要があり、問題として価格が挙げられます。

薬剤が滞留するのは約2ヶ月程度で、注射の頻度は疾患や活動性によって大きく異なります。

難治性加齢黄斑変性などは毎月、活動性の低い近視性脈絡膜新生血管は再発の度に、加齢黄斑変性や糖尿病網膜症などの慢性疾患は永続的に打つ場合もあります。

薬価は15万円程度で、3割負担だと毎回5万円程度が必要となります。特に若い世代など3割負担で毎月打つ場合は、その負担は非常に大きくなります。

多くの国では保険財政を圧迫するため、使用回数制限されているところもあります。今後は投与間隔が長い薬剤も開発されていくでしょう。

医療関係者様向け 情報配信登録はこちら!

恭青会では活動や疾患についての

お役立ち情報を医療関係者様限定に配信をしています。メールマガジン配信やニュースレター送付ご希望の方は、下記恭青会HP内の登録フォームよりご登録ください。

登録フォーム https://kyoseikai.com/contact_news/

配信予定

メールマガジン電子版「慈育」：月2回
ニュースレター「慈育」：3か月に1回



基本情報はホームページより、活動はSNSよりご確認くださいませ。

- 医療法人恭青会 <https://kyoseikai.com/>
- いくの眼科 <https://ikuno-eye.com/>
- あさいアイクリニック <https://asai-eye.com/>

Instagram

医療法人恭青会 @kyoseikai
院内の活動を掲載していきます。

Facebook

医療法人恭青会 @kyoseikai.eye.doctor
理事長の活動や院内情報を掲載していきます。

Twitter

医療法人恭青会 いくの眼科 @ikunoeeye
診療時間のお知らせやご案内を掲載していきます。

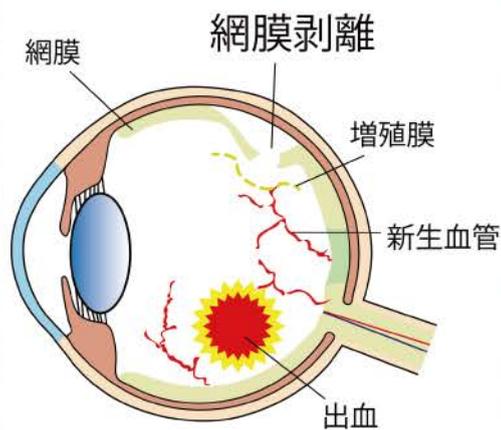
※一般の方向けにもメールマガジン電子版「慈恩」・ニュースレター「慈恩」で情報配信を行っています。詳しくは恭青会HPの「患者様向け情報」をご覧ください。

メタボリックシンドロームと眼科疾患

メタボリックシンドローム(以下メタボ)になって起こる病気の1つに、糖尿病があります。糖尿病になると目に様々な合併症が生じ、その中でも1番多いのは糖尿病網膜症といわれるものです。糖尿病により網膜毛細血管が侵され、動脈瘤を生じ、網膜の血流が悪くなり、新生血管という悪い血管が網膜に生じてきます。この新生血管は網膜剥離や硝子体出血、緑内障などの病気の原因になります。

治療方法として網膜光凝固術(レーザー治療)を行います。これは視力が回復する訳ではありませんが新生血管は抑制されます。

また、糖尿病黄斑症といって黄斑(視細胞がたくさん集まっている部分)が腫れ、見えにくくなる疾患があります。この場合も注射やレーザー治療で対処は可能ですが、非常に費用がかかり、回復しない場合



糖尿病網膜症

合も多々あります。そのため、糖尿病網膜症や糖尿病黄斑症にならないように、血糖のコントロールをすることが非常に重要です。

目に悪い影響を及ぼすのは糖尿病だけではありません。

動脈硬化が強くなってしまった場合、網膜の血管は動脈瘤や、網膜静脈閉塞性といわれる病気を生じます。

網膜静脈閉塞症は簡単に言うとな網膜の血管が詰り、細くなって血が流れなくなることです。この病気は、網膜の一部が障害される分枝閉塞症と全体が障害される中心閉塞症にわかれ、中心静脈閉塞症のほうが重症になります。

一度なってしまうとなかなか治らず、ひどい後遺症が残る場合もあります。対処法としては前記述べたような、レーザー治療や注射が中心となりますが、この疾患も視力は回復しない場合が多いです。

眼科でメタボと関係が深い眼科疾患が見つかったときは、糖尿病や高血圧や高脂血症など体の病気がないかを内科で検査する必要があります。

また、メタボと診断された患者様で目の不調を訴えた場合は、右記のような疾患の場合もありますので、早めに網膜の専門医に相談することをお勧めします。

編集後記

ニューズレター「慈育」4号をお届けいたしました。今回は「ブルーライト問題」と「コンピュータによる目の障害」についてをお届けします。

編集部



十三本院

いくの眼科

白内障手術 網膜硝子体手術 近視治療 眼瞼手術 眼科一般

〒532-0023

大阪市淀川区十三東2丁目9-10 十三駅前医療ビル3階

☎ 06-6309-4930

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	▲	●	●	▲	■	/
14:00~17:30	▲	◎	/	◎	▲	/	/

●…受付可能。初診の方も診察できます。 ◎…受付可能。手術も行います。
▲…予約もしくは紹介状が必要となります。
■…第2・第4土曜は原則、院長診のため予約もしくは紹介状が必要となります。その他の土曜は初診受付が可能です。
※初診・予約の方は、午前・午後とも診療時間の15分前に受付終了です。
※予定外の診療により、時間変更になることがあります。

休診日 水曜・土曜の午後、日曜、祝日



いくの眼科分院

あさいアイクリニック

白内障手術 近視治療 眼瞼手術 眼科一般

〒661-0033

兵庫県尼崎市南武庫之荘1-19-26 サークルFビル3階

☎ 06-6423-8871

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	●	●	/	●	●	●	/
15:30~18:30	●	●	/	/	●	/	/

休診日 水曜日、木曜・土曜の午後、日曜・祝日